

大学院特別講義のご案内

- 日時： 令和3年1月29日（金） 18:00～19:30
- 場所： D棟4階 第3講義室（リアルタイム講義：講義室大型モニターに投影）
- 講師： 日本大学歯学部生理学講座 特任教授 岩田 幸一先生
- 演題： 「神経障害性疼痛に対する非神経細胞の役割」
- 要旨： 三叉神経が傷害されると口腔顔面領域にアロディニアや痛覚過敏と呼ばれる強い病的疼痛が惹起される。三叉神経の損傷は損傷神経に対して高頻度の損傷電位を引き起こす。それに引き続いて三叉神経節細胞にも異常な興奮が誘導され、一次ニューロンは感作され、興奮性はさらに亢進する。三叉神経節細胞の異常興奮は三叉神経脊髄路核（Vc）および上部頸髄（C1/C2）ニューロン伝えられ、それぞれの領域に存在する侵害受容性ニューロンの興奮性が異常に亢進し、二次ニューロンは感作される。一次ニューロンおよび二次ニューロンに誘導された興奮性増強はさらに上位中枢に伝えられ、口腔顔面領域に病的な痛みが惹起される。この様な一連の過程におけるニューロンの興奮性亢進に対して、三叉神経節においては非神経細胞であるサテライトグリア細胞やマクロファージ、VcやC1/C2ではミクログリア、アストロサイトおよびマクロファージが誘導、活性化されてサイトカインをはじめとする様々な物質の合成と分泌が誘導され、ニューロン活動に強い興奮性亢進が引き起こされる。本セミナーでは、ニューロンと非神経細胞との機能関連に焦点を絞り、三叉神経損傷後に、口腔顔面領域に誘導される神経障害性疼痛に関する研究データを紹介し、その発症機構に関して議論を深めたい。



問い合わせ先：口腔生理学教室 加藤隆史（2882）

* “口の難病セミナー” を兼ねます。